少子化に伴う「高等教育規模の適正化」と地方における「高等教育機会確保」という岐路に立つ今、地域社会のスマートシュリンクを背景に、東北地方に位置づく大学の新たな戦略や可能性について議論する。共学化、(私立大学の) 公立化、官民連携、再編・統合といった具体的な変革を取り上げるとともに、近年進んでいる高校教育改革の動きも視野に入れながら、人口減少を「知の高度化」の契機とし、持続可能で地域を牽引する未来志向の地方高等教育モデルを描き出すことを目指す。

IDE 大学協会東北支部　2026 年度 IDE 大学セミナー

スマートシュリンク時代における地方大学の挑戦

2026.11.27 Fri. 14:00-17:00

ハイブリッド開催
対面／ZOOM

【現地会場】東北大学川内北キャンパス
教育・学生総合支援センター 東棟4階 大会議室

Timetable

14:00～14:05　開会挨拶：冨永 悌二（IDE東北支部長，東北大学総長）

14:05～14:15　趣旨説明：齋藤 渉（東北学院大学高等教育開発室准教授）

14:15～14:45 【基調講演１】田村 秀 氏（長野県立大学グローバルマネジメント学部教授）
「地方大学を巡る環境の変化と対応策について」

14:45～15:15 【基調講演２】寺島 史朗 氏（文部科学省高等学校振興課長）
「高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン)について」

15:15～15:30 【話題提供1】南谷 佳弘 氏（秋田大学学長）
「地方創生における秋田大学の使命」

15:30～15:45 【話題提供2】加藤 美紀 氏（仙台白百合女子大学学長）
「共学化へのチャレンジ」

15:45～16:00 【話題提供3】高橋 聡 氏（岩手県立大学理事・副学長(教学担当)）
「公立大学の役割再定義と展開」

16:00～16:05　休憩

16:05～16:15 【パネルディスカッション】 コメント　佐々木 啓一（宮城大学学長）
16:15～16:55　質疑応答

16:55～17:00　閉会挨拶　蒔苗 耕司（宮城大学副学長）

全体司会：小形 美樹（仙台白百合女子大学人間学部グローバル・スタディーズ学科教授）
パネルディスカッション司会：杉本 和弘（東北大学高度教養教育・学生支援機構教授）、齋藤 渉（東北学院大学高等教育開発室准教授）

参加申し込みはこちらから

詳細・参加申し込み

- 申込み方法：QR コード、Web 申込み　東北大学高度教養教育・学生支援機構 HP　https://www.ihe.tohoku.ac.jp/
- 申込み締切：2026 年 11 月 24 日（火）　● 参加費用：無料　● 定員：来場：30 名／ オンライン：300 名
- 問い合わせ：IDE 東北支部セミナー担当（東北大学教育・学生支援部学務課）
  TEL：022-795-7537/E-mail：gaku-syom@grp.tohoku.ac.jp
- 共　　催：IDE 大学協会東北支部／東北大学高度教養教育・学生支援機構